

会 議 録

1 会議名

第 11 回上越市都市計画マスタープラン策定検討委員会

2 議事（全て公開）

- (1) 第 10 回都市計画マスタープラン策定検討委員会でのご意見及び対応
- (2) パブリック・コメントでのご意見及び対応
- (3) 上越市都市計画マスタープラン（案）の確認
- (4) その他

3 開催日時

平成 27 年 7 月 27 日（月）午前 10 時 00 分から

4 開催場所

上越文化会館大会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：中出文平、佐野可寸志、澤田雅浩、坂田寧代、東條邦俊、萩谷賢一、
田村三樹夫、丸山新、常山哲、上原みゆき、桑原直樹、中村好男
- ・ 事務局：都市整備課 市川部長、宮崎参事、佐藤副課長、竹田係長、大滝主任、
宮崎主任

8 発言の内容（要旨）

- (1) 開会
- (2) 市川都市整備部長挨拶

(市川都市整備部長) 本日は大変お忙しい中、第 11 回検討委員会にご出席いただきありがとうございます。都市整備部長の市川と申します。これまで検討委員会に中々出席出来なかった事をこの場でお詫び申し上げます。

前回の委員会につきましては、5 月 21 日に開催いたしまして地域別構想の意見交換会での指摘と対応についてご説明させていただき、その指摘と対応を踏まえた内容についてご確認いただくとともに、実現化方策(案)についてご議論いただいたところでございます。本日の委員会におきましては、前回委員会等でのご意見や 6 月 1 日から 30 日までパブリック・コメントのご意見への対応について、最終計画案をご確認いただきたいと思いますと考えております。

今後の予定については、後ほど、ご説明させていただきますが、本日の最終計画案を基に上越市都市計画審議会等に報告させていただき、8 月中旬頃に上越市都市計画マスタープランとして公表してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

(中出委員長) それでは第 11 回検討委員会を始めたいと思います。今ほど説明されていましたが、本日ご議論・ご確認をいただき、このマスタープランを正案とさせていただくのが最終の委員会となります。皆さんよろしくお願い致します。

それでは次第に従い議事を進めていきたいと思っております。今日は議事がその他を含めて 4 つあります。まず初めに議事の 1) 前回委員会等でのご意見及び対応について、資料 1-1 の説明をお願いいたします。

(3) 議事

1) 第 10 回都市計画マスタープラン策定検討委員会でのご意見及び対応について

(事務局) 資料 1-1、1-2、1-3 説明

(常山委員) 5-13 ページ、長寿命化計画の事例写真について、「修繕後」より「修繕前」の写真の方が良いようにも感じますが、他に良い

写真はなかったのでしょうか。

(事務局) 長寿命化の事例については、既存施設の色を塗り替えや、メンテナンスなどが多く、写真はこのようなものになります。

(中出委員長) 写真はだいぶ頑張っていたいたようです。前回の委員会でのご意見に対してはそれぞれ対応いただきました。都市計画審議会等でも意見をいただいておりますが、特に大きな修正はないそうです。

委員会での意見への対応についてご説明いただきましたがよろしいでしょうか。

(中村委員) 4-16 ページ、「比較的新しい進行住宅地」は、この「進行」で良いのでしょうか。新しく興る「新興市街地」ではないのですか。

(事務局) 都市計画上の用語で、春日山については比較的新しく開発されている「進行市街地」として表現しております。最終的な冊子の中に掲載する用語解説の中でも紹介する予定です。

2) パブリック・コメントでのご意見及び対応

(事務局) 資料 2-1、2-2 説明

(中出委員長) ありがとうございます。ただいまのご説明について、ご意見・ご質問ございますか。

(中村委員) 高田公園の名称を変更したいという話を聞きましたが、どのような状況なのでしょうか。

(事務局) 高田開府 400 年祭実行委員会の意見としてそのような話が出たことは聞いておりますが、現段階では「高田公園」という名称のままで良いと考えております。

(中出委員長) よろしいでしょうか。

地域別構想の方針図の調整について、修正前の図は色弱の人や高齢者で白内障が進んでいる方にとっては見にくいと思いますので、黒字での表現の方が良いと思います。今後もしこのような図を作成される際にはユニバーサルデザインに配慮してい

ただければと思います。老眼というだけでも、色合いが暗いと色の区別が難しいです。

パブリック・コメントへの対応は公表されているのでしょうか。

(事務局) 現時点では公表していません。委員会等での報告を終えた後に公表することを予定しています。

(中出委員長) それでは、議事の3)に進みます。

3) 上越市都市計画マスタープラン(案)の確認

(事務局) 資料3-1、3-2 説明

(中出委員長) この資料は全部読もうと思うと大変なのですが、1週間弱はお手元にあったと思いますので、お目通しただけだと思います。

こちらについてご意見・ご質問ございましたらお願いします。

(田村委員) 例えば概要版の71ページ「取り組みます」と「取組」の表現を統一したほうが良いのではないのでしょうか。

また、1) 市民参加の機会充実の文言で、「様々な」の前に「さ」が入っています。

(事務局) 名詞としての表記と、動詞としての表記でひらがなの有無を使い分けております。

(上原委員) 69ページでも、「取り組みを検討します」と、名詞でもひらがながついているものもありますので、統一したほうが良いと思います。

(事務局) 間違いがあり申し訳ございません。今一度確認いたします。

(澤田委員) 概要版4ページの人口集束のイメージで確認です。イメージ図において将来人口の具体的な数字が出ています。現在、総合計画と関連する人口ビジョンを作成しているはずですが、そちらの将来推計値との関係に齟齬がないように、問題ないか確認していただければと思います。

(事務局) 総合計画では、人口問題総合研究所の将来推計人口だけを提示しており、市独自の人口推計は行っておりません。都市マスの中では出来るだけ上向きになるように頑張りますという記載

はしております。

上越市でも「まち・ひと・しごと創成ビジョン」を今秋に向けて作成しており、人口推計の公表については検討中であるため、調整した上で整合を図らせていただきます。

(中出委員長) 都市マスは上位計画である総合計画の人口フレームに基づくものであるから、このままで良いと考えます。

また、総合戦略でどんなに人口増加を求めても、10年前後では全く効果は現れず、実際には2050年頃に効果が少しずつ現れてくるのではないのでしょうか。人口問題研究所の将来推計の基準年が平成22年で将来推計値は20年後である平成42年がベースとなっているが基準年に対して25年後の平成47年の値が提示されています。本都市マスの計画期間が平成27年から20年後の平成47年なので、平成47年の人口問題研究所の値を用いていることになります。

本編には出典として、国立社会保障・人口問題研究所が記載されているのでしょうか。

(事務局) 資料3-2の3-17ページに、国立社会保障・人口問題総合研究所を出典として記載しております。

(澤田委員) その調整と確認がしてあれば問題ないかと思います。

(佐野委員) 地域別構想において、各地域の人口・世帯数の推移グラフの軸が地域によって異なり、見せ方によっては極端に人口が減っているようなグラフに見えると思います。

「何年から何%増」などを記載すると他の地域と比べてどうかということがわかりやすくなるのではないのでしょうか。

(事務局) グラフのスケールは見やすさを重視して地域によって変えています。佐野先生がおっしゃるように、平成22年の数字の脇に括弧で、平成12年比の増減をプラス・マイナスのパーセンテージ標記について検討させていただきます。

(中出委員長) 軸によってグラフが違ってくるといふ事と、各地域の増減の傾向がどうなのかということが分かるようにした方が良いとい

うご意見かと思えます。

各地域の人口・世帯がどの程度増減しているかを分かり易くするため、平成 22 年の数値の下に、対平成 12 年比の値を入れていただければ良いのではないのでしょうか。

(坂田委員) 5-6 ページにおいて、「保全すべき中山間地域の優良農地」の写真がオレンジの田園地域の取組 2 の枠の中に入っていますが、中山間地域の枠にいれた方が良いのではないのでしょうか。

(中出委員長) 先生のおっしゃることはわかりますが、その方法で修正すると農振法に基づく取組を色々なところに入れないといけなくなるため、このままの方が良いと思えます。

(桑原委員) 概要版の 7 ページの 1 番下、公共交通の乗り物の絵について、バスが頸城バスのイラストではありません。また、69 ページ、安塚コミュニティプラザでの活動風景の写真の出典が国土交通省とあるのは正しいのでしょうか。

加えて、本文の 4-55 ページの写真「大潟県営都市公園」とありますが、市のホームページ上では「大潟水と森公園」とあります。正式名称をどのようにするのでしょうか。

(事務局) バスのイラストについては、良いものがあれば差し替えます。

安塚の小さな拠点については、たまたま安塚の写真が国土交通省の資料の中で使われているため、出典は正しいです。

(中出委員長) 施設名称はすべて精査したので、良いのではないのでしょうか。

(事務局) 「大潟水と森公園」の名称は、都市計画決定した正式名称に統一しました。

(東條副委員長) 3-24 ページ県立武道館の取扱は、予定地と認識しておりますが、この場所で決定しているのでしょうか。

3-26 ページで、「吹上遺跡」と「釜蓋遺跡」が取り上げられていますが、市内には他にも遺跡があるのではないのでしょうか。

(事務局) 「県立武道館」については、アピールも含めて記載しております。遺跡については、他にも遺跡・史跡があるのですが、遺跡がすぐ側にある新幹線駅という事で、これもアピールを含め

て記載しています。

(東條副委員長) アピールはわかりますが、「県立武道館」の場所はまだ公開されていないのではないのでしょうか。

(事務局) 県立武道館の検討は、当地を予定位置として動いています。

(中出委員長) 地域別構想の方針図は、各地域からこれで良いという確認を経ていますので、特別大きな問題がなければこれで良いかと思えます。

今ご指摘いただいた内容について、確認、微修正していただいた上で、概要版と本編についてはこれで最終とさせていただいてよろしいでしょうか。

(委員一同) (異議なし)

(中出委員長) およそ 2 年前に最初の委員会が開催され、皆様にご議論いただきようやく正案まで辿り着きました。足かけ 2 年にわたり本当にありがとうございました。

ここで、皆様から一言ずつご感想いただければと思います。

(丸山委員) 2 年前に初めて委員会に参加させていただき、対象は市街地から中山間地域からということで、中山間地域の課題が多い中、取組をマスタープランとして取り上げていただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

(常山委員) 私も上越市民で、機会があって委員になりましたが、私の知らない上越市の姿を知ることができ勉強になりました。ありがとうございました。

(上原委員) みなさん毎回きめ細やかな対応と、良い都市計画を作ろうという姿勢で、大変勉強になる 2 年間でした。ありがとうございました。

(桑原委員) 2 年間携わらせていただき、細かい指摘等たくさんさせていただきましたが、綺麗な最終版が出来上がってきたのかなと思います。20 年後の計画ということで、その頃まだ現役で働いていると思いますので、あの時こんな風に作り上げたなというのを思いながら 20 年後、しっかり実現していることを願って最後の

挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(中村委員) 大変長丁場で、継続するのは大変でした。パブリック・コメントの結果から、市民の人はあまり関心を持っていないのだなという感想です。20年後はわかりませんが、完成したら綺麗な冊子を眺めたいと思います。ありがとうございました。

(田村委員) 人口減少社会を前提とした計画ということで、20年後は寂しい見通しだなというふうに感じます。

この先の20年はあまりにも発展性がなく、都市としてどうなってしまうのだろうと心配になってしまいますが、非常に難しい時代に入ってきたということ勉強させていただきました。

(荻谷委員) 改めて上越市はこんなに広いのだなということを感じました。2年間にわたり、色々と修正をしていただきましたが、これを果たしてこれから上手く実現できるのか、期待したいと感じました。

(坂田委員) 新幹線が開通する中で、このような委員会に参加させていただき大変勉強になりました。ありがとうございました。

(澤田委員) この委員会で新駅を見せていただいたと思うと、非常に長いなという風に感じます。今回私にとって印象的なところが2点ありまして、1点は都市マスの中に防災がきちんと項目として入ったということです。私自身が専門としているという事もあり、ハードだけではなく色々な資源をやりくりしながら考えていくソフトの面から防災というテーマは都市計画に比較的なじむという事をこの議論の中で改めて勉強させていただきました。

もう1点は、本来都市マスが包含していない都市計画区域外まで地域別構想の中で配慮しているという事です。

この2つが私にとっては非常に印象的でした。今後行政にとって良い方向に向かう礎となるプランになると思います。ありがとうございました。

(佐野委員) 20年前に策定したマスタープランがあって、現在があるわけですが、良かった部分、難しい部分色々あると思います。

過去の経験も踏まえてこれから進めていただければと思います。ありがとうございました。

(東條副委員長) 2年間ありがとうございました。特に、委員長からは色々なお話を聞かせていただき大変勉強になりました。

中山間地域をこれからどうしていくのか、というのが今後大きな問題になるかと思いますが、中山間地域を含めた計画を策定していただいたので今後進めていただければと思います。ありがとうございました。

(中出委員長) 本来、委員長なのでとりまとめをしないといけないのですが、随分勝手な事も言わせていただきました。

私としては概要版の最後の2ページ、計画の実現に向けた仕組みという部分が重要と考えています。今回策定した20年後の姿、5年後位にはまた見直しが必要になってくるとは思います。その時に誰が見てもどう作ったのかがわかり、担当が変わっても志が伝わるようにしておくことが重要で、そういう意味では、今回のマスタープランは良く書いていただいたのではないかと思います。

2年間ありがとうございました。それでは、議長の職をとかせていただきます。

(4) 閉会

(市川都市整備部長) 大変ありがとうございました。これまで当委員会において、精力的に闊達なご意見をいただいたことに改めて感謝申し上げます。

この計画を基に当市が目指す都市の将来都市像やまちづくりの方針の実現に向け、市民のみなさんとともに進めて参りたいと考えております。

皆様におかれましては引き続き都市計画行政にお力添え賜りますよう改めてお願い申し上げます。

都市計画マスタープランの冊子は出来あがり次第皆様にお

届けたいと思っております。

長期間に渡ってご審議いただき、本当にありがとうございました。

9 問合せ先

都市整備部都市整備課計画係

TEL : 025-526-5111 (内線 1375)

E-mail : toshiseibi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。